

モーツァルト室内管弦楽団

第69回 定期演奏会



独奏：杉本道応
(トランペット)

国立音楽大学卒業。卒業演奏会、ヤマハ新人演奏会に出演。第1回多摩フレッシュ音楽コンクール入選。板橋区文化会館オーディション合格。これまでにトゥッティで東京都響、東京響、東京フィル、東京シティフィル、日本フィル、新日本フィル、N響室内楽、芸大フィル、瀬戸フィル、岡山フィル、静岡響、群馬響、ポリシヨイ響、フイレントゥエ歌劇場管弦楽団、バツハアカデミー管弦楽団の演奏会

に出演。ソリストとしてはハイドン、フンメル、テレマン、モーツァルトのコンチェルト、ブランデンブルク協奏曲第2番を演奏。トランペットを北村源三氏に師事。2003年6月からほぼ毎回モーツァルト室内管弦楽団の定期演奏会にトゥッティとして出演。



指揮：小山貴之

指揮者兼ヴィオラ奏者。現在、読売日本交響楽団ヴィオラ奏者。京都市立芸術大学卒業。ヴァイオリンを岩淵龍太郎、岸辺百々雄、辻井淳、(故)阿部靖、G.ボッセの各氏に師事。大学在学中よりテレマン室内管弦楽団に在籍し、演奏活動を行う。1985年同楽団の旧東独演奏旅行に参加、ライプツィヒ・ニコライ教会でのバツハ生誕300年記念公演に出演。ヴィオラを永藤照夫、G.ボッセ、(故)T.カクシュカの各氏に、また室内楽をアルバン・ベルク弦楽四重奏団、バルトーク弦楽四重奏団に師事。

卒業後ヴィオラに転向し、読売日本交響楽団に入団。2002、2004年度、首席代行を務める。オーケストラ活動のほか、1992年読売日本交響楽団員による「ラク弦楽四重奏団」を結成し、その活動を主宰。その後「リュミエール弦楽四重奏団」に参加。独奏活動についても、1998年から積極的に取り組み、第3回JILA音楽コンクール弦楽部門入選。また東京、茨城、世田谷、長野、青梅などで各地でリサイタルを行う。1999年、東京文化会館における現代音楽演奏会において、無伴奏ヴィオラ曲の邦人作品を演奏。さらにNHK/FMリサイタルに数多く出演。第5回JILA音楽コンクール弦楽器部門入選、すみだトリフォニーホールでの披露演奏会出演。

指揮法をドイツの巨匠、クルト・レーデル氏に師事。大学管弦楽団の指揮・指導のほか、読響メンバーのオーケストラでも指揮を行うなど、指揮者としても積極的に活動。

W.A. モーツァルト：

歌劇「ボントの王ミトリダテ」序曲 K.V. 87
交響曲 第30番 ニ長調 K.V. 202

F. J. ハイドン：

トランペット協奏曲 変ホ長調 Hob. VIIe-1
交響曲 第94番 ト長調「驚愕」 Hob. I-94

演奏：モーツァルト室内管弦楽団



交通：

東京メトロ 半蔵門線「水天宮前」駅6番出口から徒歩2分

日比谷線「人形町」駅A2出口から徒歩5分

東西線「茅場町」駅4-a出口から徒歩10分

都営地下鉄 浅草線「人形町」駅A3・A5出口から徒歩7分

中央区コミュニティバス（江戸バス）

北循環25「日本橋区民センター」下車0分

※ホール（観客）・集会室用の駐車場はございません。
お車でのご来場はご遠慮ください。

2019年12月15日(日) 午後2時開演

日本橋公会堂4階ホール

中央区日本橋蛸殻町1-31-1

チケット：¥1,000(全席自由) 問い合わせ先：042-397-2883 藤井 方

モーツァルト室内管弦楽団のホームページ：<http://orchestra-mozart.sakura.ne.jp/>